

皆さんご存知ですか?
葛飾区にはゴム工場が
300社ほどもあります!

国内有数のゴム産業集積地を
長年に渡って陰で支えてきたのが
ここ(株)不二精型です

使い易い最高精度の金型を提供

～ゴム金型～

株式会社不二精型

作:風来

特にわが社は国内の
○リング用金型の
パイオニアです!

鈴木益雄代表取締役

○リングとは...
電気製品・自動車・航空機...
水道・ガス各種機器...等
実際に様々なものに使われていて...

こういった
リング型の
ゴム部品です

この
金型です！



うああーっ
そうだつ！
俺は金型の
エキスパートになつてやるぞ！

十代で新潟から上京し
職人としてゴム金型作りの
修行を重ね腕を上げた私は…
ある日ふと思ひました

しつかり
みがけよ！

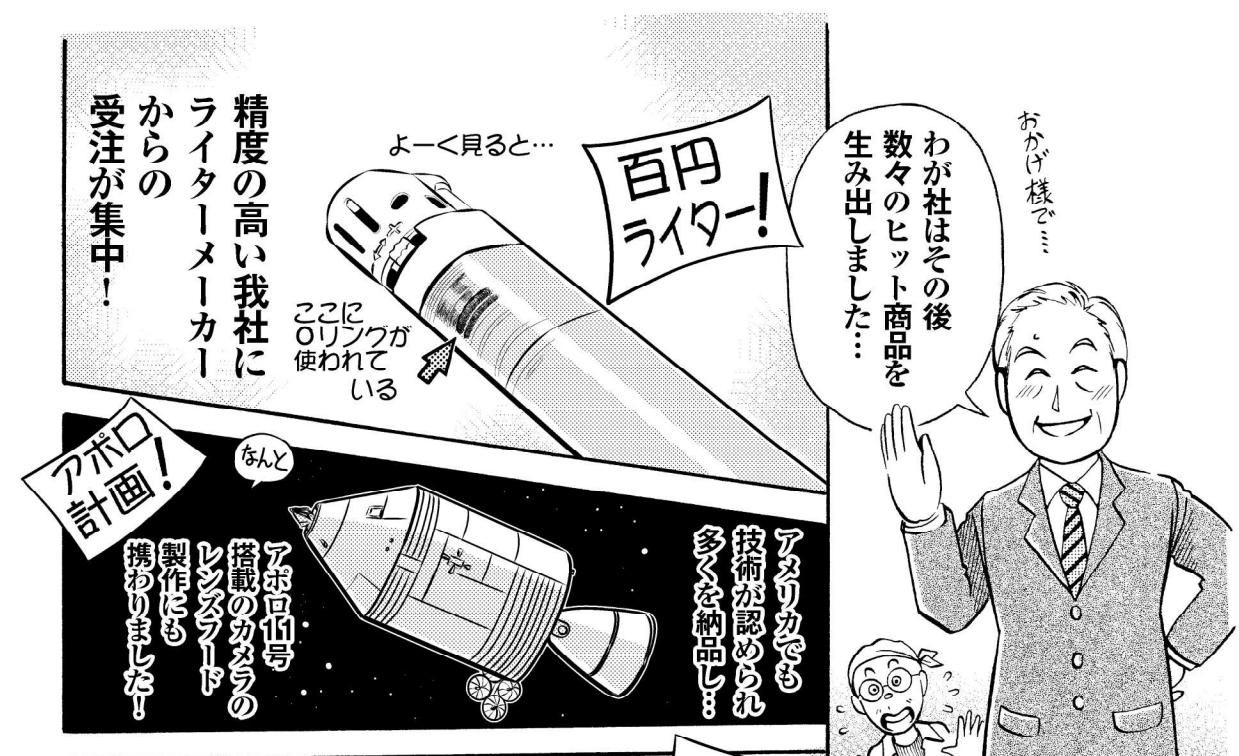


私は独立して会社を
立ち上げたのでした

これからはきっとさらに
精密なOリングの
需要が増えるに違ひないつ

産業が急激に発展し
国内製品が多数生産され
さらに小型化も進んでいる…

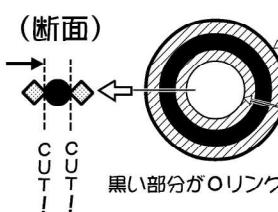




*バリ・加工過程で製品のヘリ等に
はみ出したりしてできる余分な部分

喰切は点線で簡単に
切り取れるように
出来ています

(注) 図はわかりやすく、Oリング
1つ分だけになっています

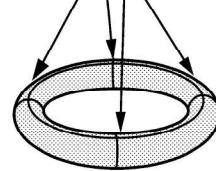


ゴム成形後、Oリング
以外の余分なバリ
(斜線部)を
きれいに取る為の工夫が
喰切(くいきり)です

黒い部分がOリングになる所

Oリングの基本は
どこで切っても
断面が常に正円と
なる事です

どこで切っても…



常に 正円!

どんな小さな
製品でも
寸分の狂いも
許されません



それでは実際の
製造部門を
お見せしましょう！

まあどうだ



私達は

喰切の付け方は
金型メーカーの
腕の見せ所で…

社長の技術を
引きつぐ20名ほどの
職人達が作業場で
新旧様々な機械を
使いこなして高品質の
金型を作っています

作業場のかべに
ひつそりとはられた
社長の好きな言葉

大事に
使つてます

古い機械は
時間はかかりますが
加工する素材に対し
「優しい」んですよ

何度も
シミュレーションします

しかしコンピューター制御された
最新の高精度な機械でも
やっぱり職人の手や目による
細やかな最終調整が必要なのです

これは金型を削りだす
世界最高精度の
機械です！

ホント…不思議ですが…
一度加工作業中に機械を止めてしまつと
厳密にみるとどこか微妙に
設定が変わつてしまふんです！

気候・温度・湿度…
金属は様々な影響をうけます
ですのでやり始めたら最後まで！
機械を止めずに残業してでも
その日のうちに作業を終わらせます



